



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

# 玉本なるみ

です

発行連絡先：日本共産北地区委員会

☎432-3261

2014年3月②号

## <予算市会報告>

### ■消費税増税分を水道料金やバス・地下鉄運賃、会館利用料などに転嫁

年金の引下げもあり、消費税増税は、消費者だけでなく、お商売をされている方にとっても大打撃です。

消費税は、低所得者ほど重い負担となる最悪の不公平税制であり、住民の暮らしを守るべき地方自治体の首長は、国に対して、消費税増税中止、公営企業への課税免除をこそ求めるべきと指摘しました。ところが市長は、「消費税は、世代間の公平、負担の分かち合い」論に終始し、国言いなりの姿勢を明らかにしました。

### ■京都市会の定数削減

自民、公明、民主都みらい、京都党の市会各会派は、京都市会の議員定数を上京区と左京区で各1、計2名削減する議案を17日の閉会本会議で強行しました。

自治体もお金がない時に、議員の定数を減らしたらいいというお声をお聞きすることがあります。

しかし、私たちはそうは思いません。例えば、北区では、6人の議員がいますが、人口で割ると2万340人に一人ということになります。住民の皆さんの声を議会に届けるのが市会議員の仕事ですが、あまりにも対象となる住民が多すぎます。

日本共産党は議員数を減らすのではなく、むしろ、人口の増えている西京区や伏見区、山科区の議員数を増やす提案をしました。財源は、議員報酬を3割カットして、その財源を確保することも提案しましたが、自民や公明、民主、京都党の皆さんは反対しました。

しかも、議会改革を全会派で進めてきたのに、本会議の採択で決めてしまいました。

### ■京都市障害者リハビリテーションセンターの付属病院の廃止を強行

患者さんや職員、医師会、保険医協会など、多くの方が継続を求めているのに、日本共産党以外はすべて会派が廃止に賛成しました。許せないです！！

廃止となるのは、来年の3月なので引き続き、リハビリセンター付属病院の廃止をストップさせましょう！

### つぶやき：京都市のゴミ袋は「made in china」

市政報告会で、「何で、京都市のゴミ袋は中国製なんや！」とご意見をいただきました。「ゴミ袋の有料化には反対やけど、どうせ作るんやったら、京都で作らんのかな」とのこと・・・。ごもつともです。入札で安い業者に決め、その業者が人件費の安い中国で作らせているのです。

京都市や京都府の公共事業はなるべく、地域でお金が循環するようにすべきです。そのような制度を作ることを私たちは提案しています。「公契約条例」をぜひとも、早く作りたいものです。



## アンテナ 卒業と新たな出発

3月に、我が家では2人の卒業があり、4月には新しく旅立ちます。

看護大学に通っていた次女は、無事卒業し、春から京都府内の自治体の保健師として働き出します。地域住民の健康を守るために頑張ってほしいと思います。

高校3年の長男も、何とか卒業し、なんと東京のアニメの専門学校に行くことになりました。どうなることやら心配は尽きませんが、送り出すしかありません。

長男の高校は、何らかの理由で、普通高校に行けなかった子どもが学ぶインターネット通信の高校でした。今年の卒業生は157人でしたが、卒業式に参加できたのは半分程度でした。進路の決まっていない子どもさんも多くおられます。でも、あせらなくてもいいと思います。ゆっくりと体調を整えて、一歩ずつ歩き出せる日がきくと来ると思うのです。長男のことでは、いろいろ悩むことも多くありましたが、親の私のほうが、学校で出会った保護者の皆さんと友だちとなり、たくさん励まされ、子どもに対する見方も変わったと思います。

私たち大人は子ども達が社会に出た時に応援してやれる社会をつくる役割があると思います。原動力をなくし、安全で平和であること、ブラック企業などで子どもが潰れることがないよう頑張りたいと決意しています。



卒業式にて久々の息子とのツーショット

